

## 会 議 議 事 録

1 会議名	平成30年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	平成30年7月19日（木）午後1時30分から午後3時まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟3階 301会議室
4 出席者名	<p>（委員）中村委員長 山崎委員 草間委員 高橋委員</p> <p>（事務局）長岡市政策企画課 茂田井課長 長岡市政策企画課 河上課長補佐 長岡市政策企画課 林係長 長岡市政策企画課 渡辺主査</p>
5 欠席者名	槇委員
6 議事	<p>（1）平成29年度業務実績に関する評価書（事務局案）について</p> <p>（2）業務実績（見込）に関する評価書（事務局案）について</p>
7 審議結果の概要	「業務実績（見込）に関する評価書（事務局案）」について、委員からの意見を踏まえ、一部修正することとした。
8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>ただいまから、平成30年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。</p> <p>本日、4名の委員からご出席いただいておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定により、会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、これより議事に入ります。議事の進行は中村委員長をお願いしたいと思います。中村委員長お願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>議事に入る前に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めさせてい</p>

<p>委員長</p>	<p>ただきたいと思います。草間委員と高橋委員にお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(草間委員、高橋委員から了解の発言)</p> <p>それでは、議事を進めてまいります。</p> <p>前回の評価委員会では、大学の自己評価について、大学側から説明を聞き、意見交換を行いました。</p> <p>本日は、前回の内容を踏まえた事務局案について審議を行い、委員会として意見をまとめていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、議事の「(1) 平成29年度業務実績に関する評価書(事務局案)について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・政策企画課課長</p>	<p>(資料1に基づき説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様からご意見等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>修正が必要だと思うところは特にありませんでした。</p>
<p>委員長</p>	<p>他にご意見等はありませんか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは議事(1)の審議は、以上にしたいと思っております。</p> <p>続いて、議事の「(2) 業務実績(見込)に関する評価書(事務局案)について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局・政策企画課課長</p>	<p>(資料2に基づき説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様からご意見等ありましたらお願いします。</p>

委員	<p>個人的な印象として、公立化した時点と比べて、より一層地域に貢献されているなど感じています。</p>
委員	<p>大学院については改革を行ったばかりで、すぐに高い評価を得るのは難しいと思っています。平成29年度の課題を今後どのように改善していくのか見守りたいと思います。</p>
委員長	<p>私から一つ意見を述べさせていただきます。</p> <p>公立化後の長岡造形大学は、市外からの入学者が多く、また市外に就職する人の割合も多い実態があります。長岡市や長岡造形大学は、この実態をしっかりと受け止めたうえで、次期中期目標を策定することが大事だと思います。</p> <p>そこで、この見込評価書に、現在の実態を認識していて、今後何かしらの対応を取るというメッセージを付け加えてはどうかと思います。</p> <p>資料2の20ページに長岡造形大学の第1期中期目標があります。前文に『造形を通して真の人的豊かさを探求し、これを社会に還元することのできる創造力を備えた人材を養成する』という建学の理念を体現し、未来を担う若者の夢を育て、ふるさとや日本、ひいては世界の発展に貢献する有為な人材を輩出していくことは『米百俵の精神』を大切にする長岡市民にとっての大きな願いである。」と書いてあります。</p> <p>私個人の意見として、入学者に対する長岡市民の割合を増やすことや、長岡市に就職する人を増やすことは、必ずしも目指さなければいけないことではないと考えています。むしろ、「米百俵の精神」を持ったデザイン思考の人をいかに育て、世に送り出していくかを考えることの方が、長い目で考えれば、長岡市のためになるのではないかと思います。</p>
委員	<p>長岡を訪れた人が、造形のまちだと感じてもらえるようになると思います。</p>
委員	<p>18歳人口が今後減少していくという記事を見ました。学生数が減少していくなかで、大学間の競争が激しくなることが予想されます。安定的に学生を確保するためにも、より魅力ある大学にしていく必要</p>

<p>委員長</p> <p>事務局・政策企画課課長補佐</p> <p>事務局・政策企画課課長</p> <p>事務局・政策企画課課長補佐</p>	<p>があると思います。</p> <p>また、学生の満足度を向上させることに加えて、今後は、教員の満足度向上にも取り組んでほしいと思います。</p> <p>(ほかに意見なし)</p> <p>それでは、ただいま審議した内容を事務局で評価書に反映させていただきたいと思います。そして、2つの評価書案を大学側に通知してください。</p> <p>これにて議事を終了いたします。進行を事務局にお返しします。</p> <p>中村委員長ありがとうございました。</p> <p>それでは次第の3その他について、事務局からご連絡いたします。</p> <p>(次回会議日程について説明)</p> <p>これにて「平成30年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。ありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次第・出席者名簿</li> <li>○ 資料1 公立大学法人長岡造形大学 平成29年度 業務実績に関する評価書(事務局案)</li> <li>○ 資料2 公立大学法人長岡造形大学 業務実績(見込)に関する評価書(事務局案)</li> <li>○ 参考資料1 平成29年度業務実績に関する評価書(事務局案)の補足説明資料</li> <li>○ 参考資料2 業務実績(見込)に関する評価書(事務局案)の補足説明資料</li> </ul>	